

ハット形 900 幅鋼矢板の製造技術

M ー、 H ー P. 900

1. はじめに

施工性、経済性に優れた次世代の鋼矢板として、有効幅が 900 mm のハット形鋼矢板を JFE スチール、新日本製鐵(株)、住友金属工業(株)の3社で共同開発した。ここではハット形鋼矢板の特長と JFE スチールにおける製造技術を紹介します。



2. ハット形鋼矢板の特長

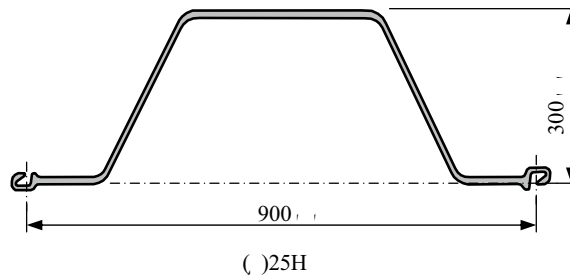
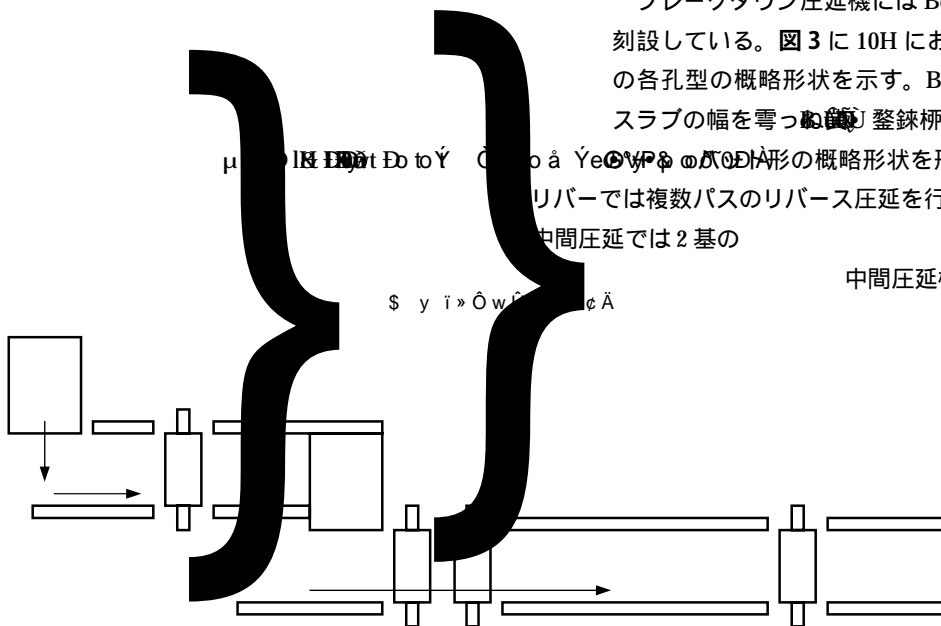


図1 ハット形鋼矢板の断面形状
Fig. 1 Section profile of hat shaped steel sheet pile 900

3.2 圧延の特徴

ブレークダウン圧延機には Box, K8, K7 の3カリバーを刻設している。図3に 10H におけるブレークダウンロールの各孔型の概略形状を示す。Box カリバーでは素材であるスラブの幅を零にする。



Box カリバーでは素材であるスラブの幅を零にする。K8, K7 カリバーでは複数パスのリバース圧延を行っている。中間圧延では2基の

中間圧延機 S1, S2 をタンデム配置し、

